

## 《審議会報告・概要版》

### 総合計画審議会 第5回第2部会

平成18年8月21日(月)午後1時30分

市役所本館6階 第3委員会室

#### 1 開会 (会長)

#### 2 前回意見と事務局対応案

- 資料1に基づき、第4回意見に対する事務局対応案を説明した。

(説明者：松田計画調整課長)

#### 3 施策別プラン

都市像 「世界と共に育つ、日本海交流都市」について

- 幹事による説明の後、審議を行った。(主な意見は以下のとおり)

#### 4 その他

- 次回(第6回)の予定について確認した。

審議内容 区ビジョン基本方針

重点プラン

日 時 平成18年9月5日 午前9時から

会 場 本館6階第3委員会室

#### 配布資料

資料1 第4回 第2部会意見概要及び対応案

(主な意見)

世界と共に育つ，日本海交流都市

1 都市を活気づける交流人口の拡大

- ・ 4つ目：“魅力的な観光資源が豊富に存在しているにもかかわらず，”とあるが，観光資源がないことが問題であると認識すべきである。
- ・ 5つ目：“米のほかにも～かわらず，”は，言い訳がましい。また，農産物の魅力の発信に，食材にプラス「グルメ」「ヘルシー」または付加価値をつけてアクティブな発信が必要である。
- ・ 4つ目：「水の都」のについて，具体的展開を記載しているのか。  
水と共生するというのはあるけれども。
- ・ 8/19のシンポジウムにあったように，舟運により各河川を結びつけ，“川の回廊”をつくったり，“北前船”を活用しては。

(1) 食と花の新潟のイメージ確立

食と花のイメージアップ

- ・ 政策的に新潟全部が花だというイメージをもっと出していく。  
各商店が競って花を置くくらいになればと思う。

(2) みなとまち新潟のイメージ確立

- ・ キャッチについて，“水の都”か“みなとまち新潟”かどちらかに統一した方がよい。

統一した上で，市民や市外からの人たちにも周知できるよう，駅や信濃川などそこらじゅうで宣伝することが必要。

史跡・歴史的建造物等の保存整備と活用（再）

- ・ 合併新市の史跡・歴史的建造物は，新津の石油など“みなとまち新潟”いわゆる旧新潟市以外のものもあることから，再掲の施策の展開ごとに文章を変えているのならば，ここも変えなければならない。

(4) 集客・交流の拡大

魅力あふれる観光都市づくり（再）

- ・ “都市と田園の双方の魅力を堪能できる観光コースの設定”や“近隣観光地と連携して～”ということは，新潟への観光は車で来てくれといっているようなもので，“来訪者が観光しやすい環境づくり”のためにどのような具体策を考えるのか心配である。

2 世界との交流と協調による飛躍

- ・ 3つ目：港，空港，新幹線を含む鉄道，高速道路などを持つことによる地理的優位性の記載はあるが，それぞれが機能的に結ばれていないことについての記載がないので書き込む必要がある。

(2) 姉妹・友好都市との交流の推進

- ・ 姉妹・友好都市との具体的な関係性が見えてこない。特にガルベストンについては分からない。

お互いにどういう都市なのかを知り合い，実際に機能し，連携・活用できるイベントなどがあるとよい。

### 3 産業が生まれ育ち都市がにぎわう

#### (3) 既存産業の振興

ものづくりを中核とする既存工業の高度化

- ・“ 漆器などの伝統的地場産業の育成を図る ” とあるが、漆器についての市民の認知が非常に低いので、市民的な認知の向上を図ってほしい。

#### (4) 交流ビジネスの振興

魅力あふれる観光都市づくり

- ・観光ガイドの育成などの、受け地型ビジネスの整備が必要である。

コンベンションシティの推進

- ・コンベンションそのものを創出することも考えているのか。また、地元企業のプロデュース機能の強化という視点は入らないのか。

海外からの誘客促進

- ・“ 外国人観光客の誘致体制の強化 ” に、外国人に分かりやすい二次交通の整備について、踏み込んで書いてほしい。

### 4 日本海政令市の拠点性の強化

#### (3) 拠点性を高める広域交通ネットワークの構築

- ・一般の方もこの計画をご覧になることから、混乱が生じないように、事業主体が分かるような文章にしていきたい。後で相談させて欲しい。

#### (4) 世界に開かれた交通機能の強化

空港アクセスの強化

- ・来年から総合計画がスタートするわけで、短期・中期ではこういうこととというような具体的なことが書き込めないか。

### 5 賑わうまちなか

#### (1) 都心回帰の促進

都心居住の促進

- ・都心にも居住をとということであれば書いても良いが、都心だけでなく、都心周辺部も入れてもらえば問題ないと思う。

#### (2) 水辺を活用したにぎわいづくり

- ・舟運の活用の記載が必要である。

#### (3) 住む人、来る人のための都心づくり

ゆとりと安心のみちづくり（再）

- ・自転車や歩くことが少なくなったので、商店街がだめになったと思う。